



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：オレフィン増産計画

(4月8日付現地各紙)

アブダビ・ポリマーズ（通称ブルージュ社）がアブダビのルワイス地区におけるポリオレフィン増産計画のコスト及び収益について検討している。

- 1.ブルージュ社（ADNOCが60%、ポレアリス社（デンマークが40%出資の合資会社）はルワイス地区に2015年までに年間250万トンのポリオレフィン製造設備を増設（ブルージュ3プロジェクト）する事を前提としたコスト及び収益について検討している。
- 2.ブルージュ3は、今後プラスチック材料の需要増加が見込まれる中近東、アジア、アフリカ地域等への市場拡大を狙ったものである。ケーブル向け等の高性能材料として低密度ポリエチレン製造も視野にいれ、コスト及び収益に関して検討を行って競争力を確認する。
- 3.本計画に対して、アブドラジズ・アル・ハジリ・ブルージュ社生産部門CEOは、「中東で2001年初めてポリオレフィン生産を開始（ブルージュ1プロジェクト）してから優秀な操業成績を納めることにより中東においてリーダー的存在になった」とコメントし、またハロルド・ハマー・ブルージュ社市場開拓部門CEOは「製品の付加価値向上は重要な戦略の一つであり、アジア、中東地域等におけるケーブル向け市場のリーダーシップ強化を可能とするものである」とコメントしている。また、シャムシ ADNOC 石化部門長は、ブルージュ社による本計画の推進を歓迎する旨コメントしている。

<参考>

ブルージュ1（建設費約12億ドル）では、年間60万トンのエチレンクラッカー及びポリエチレン生産設備を新設し2001年後半から操業を開始。ブルージュ2（建設費約13億ドル）では年間150万トンのエタンクラッカーとポリエチレン及びポリプロピレン生産設備を増設する計画であり2010年に操業を開始する予定。上記2つのプロジェクトに加え、ブルージュ3計画が実行されると、2015年には年間約450万トンのエチレンが生産される事となり、世界的に見ても大規模なポリオレフィンがルワイス地区から生産されることになる。